

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	聖心女子大学
設置者名	学校法人聖心女子学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
現代教養学部	基礎課程（※2）	夜・通信	40	40	0	40	13	
文学部／ 現代教養学部 （要件年度2022年度以前） （※1）（※3）	英語文化コミュニケーション学科	夜・通信	42	42	10	52	13	
	日本語日本文学科	夜・通信			4	46		
	史学科	夜・通信			0	42		
	人間関係学科	夜・通信			0	42		
	国際交流学科	夜・通信			20	62		
	哲学科	夜・通信			0	42		
	教育学科	夜・通信			4	46		
	心理学科	夜・通信			12	54		
現代教養学部 （要件年度2023年度以降） （※1）（※3）	英語文化コミュニケーション学科	夜・通信	42	42	10	52	13	
	日本語日本文学科	夜・通信			4	46		
	史学科	夜・通信			0	42		
	人間関係学科	夜・通信			0	42		
	国際交流学科	夜・通信			20	62		
	哲学科	夜・通信			0	42		

	教育学科	夜・通信			4	46		
	心理学科	夜・通信			12	54		
(備考) ※1 2019(令和元)年度より、学部名を「文学部」から「現代教養学部」へ名称変更した。 ・2019(令和元)年度以降入学者は「現代教養学部」に在籍する。 ・上記以外の2018(平成30)年度以前入学者は「文学部」に在籍する。 ※2 本学では、入学時は現代教養学部として一括募集し、1年次は全員が「基礎課程」に所属する。学科・専攻の決定は2年次進級時に行う。 ※3 本学では、2023年度に教育課程の変更が行われており、要件年度により一部の対象科目が異なる。 ※4 本学では、学部が一つしかないため、全学共通科目と学部共通科目で同じ値をとる。 ゆえに合計値は、「全学共通(=学部共通科目)」+「専門科目」の値としている。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

※本学 HP シラバス検索

(<https://sophie.u-sacred-heart.ac.jp/campusb/>) から「実務家教員が実施する科目のみ」で抽出することにより、対象科目のシラバスを閲覧することが可能。

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	聖心女子大学
設置者名	学校法人聖心女子学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.sacred-heart.ac.jp/data/act_of_donation/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	大学学長	2025.6.24 ～2028年度 定時評議員 会終結の時 まで (3年間)	学校法人の経営企 画に係る事項およ び学校法人全体の 重要事項に係る意 思決定および助言
非常勤	大学名誉教授	2025.6.24 ～2028年度 定時評議員 会終結の時 まで (3年間)	学校法人全体の重 要事項に係る意思 決定および助言
非常勤	学校長	2025.6.24 ～2028年度 定時評議員 会終結の時 まで (3年間)	学校法人全体の重 要事項に係る意思 決定および助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	聖心女子大学
設置者名	学校法人聖心女子学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) シラバスの作成にあたっては、教務委員会において「シラバス作成ガイドライン」を毎年度作成し、次年度授業担当者(非常勤講師を含む)に配付のうえ、ガイドラインに沿って作成するように依頼している(12月中旬依頼、1月中旬提出締切)。授業担当者から提出されたシラバスの原稿は、教務委員会委員が各学科の「教育課程の編成及び実施に関する方針」等に照らして記載内容を確認し、修正等が必要な場合には授業担当者へ連絡している。 以上のプロセスを経て、毎年3月25日付けで本学HPに最新のシラバスを公表している。	
授業計画書の公表方法	https://sophie.u-sacred-heart.ac.jp/campus/b/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学修意欲を把握するため、原則、授業回数の3分の2以上出席していることを単位の修得要件としている。また、「学修成果の可視化」の観点から、2019(令和元)年度より1年次生と3年次生を対象に、外部アセスメントテストの受検を開始した。この中の設問に、「学修意欲」に関する項目を設けており、学生自身が「学修意欲」についてどのように感じているかを把握することが可能となっている。 「試験・レポート」、「成績評価」、「単位の修得要件」の取扱い及び基準については、『履修要覧』に明記し、年度当初のオリエンテーション期間に開催される履修ガイダンスで学生に周知している。また、「卒業論文の評価基準と評価」についても『履修要覧』に明記し、これに基づき各学科で卒業論文指導を行っている。なお、毎年度作成される『履修要覧』は学生に配付するとともに、本学HPにも公表している。 各授業科目の学修成果の評価は、シラバスに記載された「評価方法」に沿って行っている。また、成績評価について、具体的な根拠に基づく確認事項がある場合には、所定の期間内に「成績評価確認願」を教務課に提出できる制度を設けている。以上の方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価したうえで、単位の授与を行っている。 なお、厳格かつ適正な評価により単位の修得が困難となった学生に対しては、『履修要覧』に記載のある「学業不振者への対応」に則し、年度当初に各学科教員との面談を実施して履修状況を確認している。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
本学『履修要覧』に以下の通り記載し、本学 HP にも掲載している。

1. GPA (Grade Point Average) とは

GPA とは、成績評価 (AA・A・B・C・F) をポイント (GP : Grade Point) に置き換えて、科目の単位数をかけ、その総和 (GPT : Grade Point Total) を履修登録単位数の合計で割った平均値のことです。

成績評価	グレード・ポイント (GP)
------	----------------

AA	4
----	---

A	3
---	---

B	2
---	---

C	1
---	---

F, F(OC)	0
----------	---

2. GPA 算出計算式

$$\frac{\text{AA の単位数} \times 4 + \text{A の単位数} \times 3 + \text{B の単位数} \times 2 + \text{C の単位数} \times 1}{\text{総履修登録単位数}}$$

※中間評価は対象外

(通年科目の F (OC) は前期中間評価でも成績が確定するが、後期が終了するまでは GPA に算入されない)

※小数点第 3 位を四捨五入し小数点第 2 位までの数値を表記

※不合格科目 (F 評価) を再履修し合格の評価を得た場合、最初の F 評価を含め全ての評価を GPA に算入する

3. GPA 算出の対象科目・対象外科目

GPA 算出の対象科目・対象外科目は次のとおりです。なお、入学年度、所属学科・専攻・コースによって該当する科目が異なりますので、カリキュラムをよく確認してください。

(1) GPA 対象科目

- ・卒業要件となる科目 (全学共通／必修分野、専攻課程分野、卒業論文)
- ・卒業要件外科目のうち「資格関係分野」以外の科目
- ・1 年次に履修した全ての科目 (1 年次のみ)

※卒業要件となる科目は入学年度、学科により異なるので各履修要項で確認すること

(2) GPA 対象外の科目

- ・編入学、留学等により認定された科目 (評価＝認定／Tr.)
- ・継続履修申請が受理された通年科目 (評価＝継続履修)
- ・卒業要件外科目のうち「資格関係分野」の科目

なお、学生本人の単年度 GPA 及び累積 GPA については、教学支援システム Sophie 上で常時確認が可能である。

成績の分布状況については、大学公式 HP へ掲載している。

客観的な指標の 算出方法の公表方法	・『履修要覧』25 頁に掲載 ・本学 HP 上での公表 ① https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2025_rishyu.pdf ② https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2024_rishyu.pdf ③ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2023_rishyu.pdf ④ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2022_rishyu.pdf ⑤ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2021_rishyu.pdf
------------------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 本学における卒業所要単位は以下のとおり『履修要覧』に記載している。

<2022 年度以前入学者>

分野	系列（科目群）	初等教育学 専攻以外		初等教育学 専攻（幼児 教育以外）	初等教育学 専攻（幼児 教育）
全学必修分野	キリスト教学Ⅰ	4		4	4
	キリスト教学Ⅱ	4		4	4
	第一外国語	8		8	8
	第二外国語	8		8	8
	体育運動学	2		2	2
専攻科目	所属学科の専攻科目	60	98*	84	92
関連科目	総合現代教養科目、基礎課程科目、所属学科以外の専攻科目 他	26		14	6
卒業論文		8		8	8
合計		132		132	132

*専攻分野 60 単位、関連分野 26 単位を満たし、さらに専攻分野と関連分野の合計が 98 単位以上になるように専攻分野または関連分野から 12 単位以上を修得すること。

＜2023 年度以降入学者＞

分野	系列（科目群）	初等教育学専攻以外		初等教育学専攻
全学必修分野	キリスト教学Ⅰ	4		4
	キリスト教学Ⅱ	4		4
	第一外国語	8		8
	第二外国語	8		8
	ウェルネス・身体活動	2		2
	AI・データサイエンス	2		2
専攻科目	所属学科の専攻科目	56	90*	82
関連科目	総合現代教養科目、基礎課程科目、所属学科以外の専攻科目 他	22		8
卒業論文		8		8
合計		126		126

* 専攻分野 56 単位、関連分野 22 単位を満たし、さらに専攻分野または関連分野から 12 単位を修得する必要がある。

卒業要件と在学年限については、以下のとおり『履修要覧』に記載している。

本学を卒業するためには、次の条件を満たすことが必要です。
卒業要件を満たした者については、教授会の議を経て卒業が決定し、学士の学位が授与されます。

- ① 4 年間在学すること（学則第 14 条）
- ② 履修要項に定められた卒業所要単位を修得すること
- ③ 最終年次に卒業論文を提出し、その審査に合格すること

卒業所要単位を 4 年間で修得できない場合は留年となり、在学期間を延長することになります。ただし、通算して 8 年を超えて在学することはできません（学則第 15 条）。

毎年度、2 月下旬の教授会において 4 年次生の成績評価確定及び卒業判定を行い、卒業内定者を決定している。学生には教学支援システムを通じて卒業の可否を知らせており、否となった学生については、本人及び保証人宛に文書でも卒業不可の通知を送付している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	・『履修要覧』15 頁に掲載 ・本学 HP 上での公表 ① https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2025_rishyu.pdf ② https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2024_rishyu.pdf ③ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2023_rishyu.pdf ④ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2022_rishyu.pdf ⑤ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2021_rishyu.pdf
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	聖心女子大学
設置者名	学校法人聖心女子学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sacred-heart.ac.jp/post_zaimu/
収支計算書又は損益計算書	https://www.sacred-heart.ac.jp/post_zaimu/
財産目録	https://www.sacred-heart.ac.jp/post_zaimu/
事業報告書	https://www.sacred-heart.ac.jp/post_zaimu/
監事による監査報告(書)	https://www.sacred-heart.ac.jp/post_zaimu/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:	対象年度:
公表方法:	
中長期計画(名称:	対象年度:
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/data/self/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/data/university/

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代教養学部
教育研究上の目的 (公表方法：https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/policy/) (概要) 聖心女子大学では、「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心(みこころ)に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」という教育理念をもとに、「知性を磨く」、「使命感を自覚する」、「発信力、実践力を高める」という 3 つの教育目標を定め、これらの資質を持つ人材の養成を目指しています。これらの教育目標を実現するため、各学科・専攻での専門的教育はもとより、キリスト教に関する教育、国際性育成の一端として外国語教育に加え、幅広い教養と自由で柔軟な思考力を育てるリベラル・アーツ教育に大きな力を注いでいます。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法：https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/policy/) (概要) 聖心女子大学は、「一人一人の人間をかけがえのない存在として愛するキリストの聖心(みこころ)に学び、自ら求めた学業を修め、その成果をもって社会との関わりを深める」女性を社会に送り出すことを建学の精神として掲げています。したがって、学業もまた、単なる専門知識や技能を修得することにとどまらず、精神的に豊かな人間的成長を実現し、他者との共生の場を開くためのものであると考えています。このような考え方から、本学の卒業生には、次のような能力と資質を身につけることを求めています。 1. 世界と人間についての幅広い視野と深い洞察を備えた教養 2. 専攻する学問分野に関する高度な専門知識と基本的な研究・調査能力 3. 論理的な思考力と柔軟かつ的確な判断力 4. 自己の立場や価値観を見定め、自らの意見を自らの言葉で発信する力 5. 他者と共感的に関わり、他者を尊重し、理解し、協働する態度 6. 現代の諸問題をグローバルな視野でとらえ、具体的、現実的に取り組む行動力 7. 各自の置かれた場で、根本的な問題や隠れたニーズを発見して、対応する力 8. 生涯にわたり、知的関心を発展させ、主体的に学び続ける姿勢
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/policy/) (概要) 聖心女子大学ではリベラル・アーツの考え方を基盤とするカリキュラムを採用しています。本学が掲げるリベラル・アーツとは、誰もが身につけるべき一般的な知識・技能（一般教養）にとどまらず、高度な学術的専門知識を探究しつつ、世界や人間に対する根本的な問いを発し、多様な観点を統合して「生きた教養」とする学びを意味します。 入学時には学科・専攻を定めず、1 年次には全員が基礎課程に所属します。基礎課程では、大学での学習の基礎となる知識・技能を習得すると同時に、各学科・専攻の授業科目の履修などを通じて、自らの適性と意欲を見極め、2 年次以降の所属学科・専攻の決定につなげます。 2 年次以降の専攻課程では、所属学科・専攻の授業科目によって、専門的な学術的能力の習得を目指します。各学科・専攻のカリキュラムは演習科目を中核にしており、そこでは研究・調査能力、課題解決能力、発信力を磨いていきます。また、副専攻制度などによってリベラル・アーツ的な学びに必要な能力や視点をさらに深めます。このような学習を経て、4 年次には 4 年間にわたる学問成果の集大成として、指導教員の丁寧な指導のもとで、全員が卒業論文を執筆します。
入学者の受入れに関する方針

(公表方法： https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/policy/)
(概要) 聖心女子大学では大学の理念に共感し、カリキュラム・ポリシー、及び学科・専攻の教育目標・教育内容をよく理解し、大学における教育課程を履修するために必要な、高等学校卒業に相当する学力の 3 要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性）を備えた人に入学していただきたいと願っています。 そのため、次の 3 つの観点に合致する学生を募集しています。 1. 自分の意見や価値観を持ち、自分の言葉で発言して周囲の理解を得る力を身につけたい人 2. 日常的に学習する習慣を身につけ、新たな知識や経験によって自分の世界を広げたい人 3. 社会や周囲の人々が必要としていることに敏感に気づき、自らの知識と心と手足を使って社会に貢献する力を身につけたい人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/data/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	5 人	－					5 人
現代教養学部	－	38 人	19 人	7 人	5 人	0 人	69 人
	－	人	人	人	人	人	74 人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0 人		295 人					295 人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://www.u-sacred-heart.ac.jp/research/gyouseki/					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
2024(令和6)年度は、以下のFD研修会を開催した。 －「GPS-Academic の実施結果報告会（1 年次生）」（2024.6.4 開催） －「ティーチングポートフォリオ」（2024.7.30 開催） －「障がい学生支援にまつわるFD講演会」（2024.8.1 開催） －「各種調査企画の報告会」（2024.8.1 開催）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代教養学部 (※)	490 人	583 人	119%	2050 人	2360 人	115.1%	30 人	20 人
合計	490 人	583 人	119%	2050 人	2360 人	115.1%	30 人	20 人
(備考) ※2019(令和元)年度入学者より、学部名を「文学部」から「現代教養学部」へ名称変更した。 2019(令和元)年度以前の在籍者は「文学部」に在籍するが、本表上は全ての在籍者を「現代教養学部」欄に記載している。								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
現代教養学部 (※)	557 人 (100%)	31 人 (5.5%)	481 人 (86.4%)	45 人 (8.1%)
合計	557 人 (100%)	31 人 (5.5%)	481 人 (86.4%)	45 人 (8.1%)
(主な進学先・就職先)（任意記載事項）聖心女子大学大学院、早稲田大学大学院、慶應義塾大学大学院、ANA エアポートサービス株式会社、日本銀行、日本航空株式会社、明治安田生命保険相互会社、弁護士法人西村あさひ法律事務所				
(備考) ※2019(令和元)年度入学者より、学部名を「文学部」から「現代教養学部」へ名称変更した。 2024(令和6)年度の卒業者は「文学部」に在籍していた者もいるが、本表上は全ての卒業者を「現代教養学部」欄に記載している。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
現代教養学部	576 人 (100%)	492 人 (85.4%)	55 人 (9.5%)	28 人 (4.9%)	1 人 (0.2%)
合計	576 人 (100%)	492 人 (85.4%)	55 人 (9.5%)	28 人 (4.9%)	1 人 (0.2%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスの作成にあたっては、教務委員会において「シラバス作成ガイドライン」を毎年度作成し、次年度授業担当者（非常勤講師を含む）に配付のうえ、ガイドラインに沿って作成するように依頼している（12 月中旬依頼、1 月中旬提出締切）。授業担当者から提出されたシラバスの原稿は、教務委員会委員が各学科の「教育課程の編成及び実施に関する方針」等に照らして記載内容を確認し、修正等が必要な場合には授業担当者へ連絡している。 以上のプロセスを経て、毎年 3 月 25 日付けで本学 HP に最新のシラバスを公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 「試験・レポート」、「成績評価」、「単位の修得要件」の取扱い及び基準については、『履修要覧』に明記し、年度当初のオリエンテーション期間に開催される履修ガイダンスで学生に周知している。また、「卒業論文の評価基準と評価」についても『履修要覧』に明記し、これに基づき各学科で卒業論文指導を行っている。なお、毎年度作成される『履修要覧』は学生に配付するとともに、本学 HP にも公表している。 各授業科目の学修成果の評価は、シラバスに記載された「成評価方法」に沿って行っている。また、成績評価について、具体的な根拠に基づく確認事項がある場合には、所定の期間内に「成績評価確認願」を教務課に提出できる制度を設けている。以上の方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価したうえで、単位の授与を行っている。 なお、厳格かつ適正な評価により単位の修得が困難となった学生に対しては、『履修要覧』に記載のある「学業不振者への対応」に則し、年度当初に各学科教員との面談を実施して履修状況を確認している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部 (2018 年度以前入学者) 現代教養学部 (2019～2022 年度入学者)	基礎課程 (1 年次)	— 単位	有	42 単位
	英語英文学科／ 英語文化コミュニケーション学科	132 単位	有	2 年次 48 単位
	日本語日本文学科			3 年次 48 単位
	史学科			4 年次 42 単位
	人間関係学科			
	国際交流学科			

	哲学科			
	教育学科			
	心理学科			
現代教養学部 (2023 年度以降入学者)	基礎課程（1 年次）	－ 単位	有	前期：20 単位 後期：20 単位
	英語文化コミュニケーション学科	126 単位	有	2 年次 前期：22 単位 後期：22 単位 3 年次 前期：22 単位 後期：22 単位 4 年次 前期：20 単位 後期：20 単位
	日本語日本文学科			
	史学科			
	人間関係学科			
	国際交流学科			
	哲学科			
	教育学科			
	心理学科			
G P A の活用状況（任意記載事項）		・2023 年度以降入学者について、1 年次後期以降の履修登録単位数の上限設定に直近の学期（前期又は後期）の GPA を利用しており、このことについては『履修要覧』に記載し、HP にて公表している。 公表方法： ① https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2025_rishyu.pdf ② https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2024_rishyu.pdf ③ https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/2023_rishyu.pdf ・2 年次進級時の学科決定に 1 年次修了時の GPA を利用しており、このことについては HP にて公表している。 公表方法： https://www.u-sacred-heart.ac.jp/assets/images/student-support/campus-life/learning/senkoukettei.pdf		
		学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/data/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
現代教養 学部	(全学科 共通)	700,000 円	250,000 円	420,000 円	「その他」内訳： ・施設設備整備費 300,000 円 ・諸費（図書費、光熱水費、 維持費等を含む）120,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要）本学では、学生が安心して学生生活を送れるように、各種奨学金、課外活動の支援、病気等のために特別な配慮を希望する学生への修学支援、留学支援、キャンパス内における学生寮の設置、キャンパスの環境整備等、様々な側面から学生の修学に係る支援を行っている。 また、1 年次センターを設置し、基礎課程に所属する 1 年次生の修学支援を実施している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 本学では、学生一人ひとりがキャリアプランを立て、そのために自ら進んで行動し、キャリア形成しようとする意欲を生み出すことを目標に、キャリアセンターが中心となって学生の進路選択に係る支援を行っている。キャリアセンターでは、求人情報、卒業生情報、インターンシップ情報を提供しているほか、就職関連書籍の閲覧が可能である。また、教員就職、公務員試験、進学、卒業後の資格取得等に対する支援も行い、4 年間を通して様々なセミナー、ガイダンスを開催し、1 年次からキャリアについて考えていくための環境を整備している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要）本学では、学生がより充実した学生生活を送れるように、保健センター及び学生相談室において学生の心身の健康等に係る支援を行っている。 保健センターでは、保健師及び看護師が常勤し、応急処置、健康相談、健康教育、病院紹介等、健康面での支援を行っているほか、内科医、精神科医、婦人科医による相談や診察も行っている。また、学生相談室では、臨床心理士の資格を持つカウンセラーが、学生生活における様々な疑問や問題（人間関係・精神衛生・学業・進路・人生の問題・信仰の問題・修学支援に関する事等）について相談を受付けている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/data/

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F113310103135
学校名 (〇〇大学 等)	聖心女子大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人聖心女子学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		136人（ ）人	123人（ ）人	140人（ ）人
内 訳	第Ⅰ区分	87人	82人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅱ区分	33人	30人	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅲ区分	12人	－	
	（うち多子世帯）	（ ）人	（ ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）	人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－
合計（年間）				141人（ ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	-	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	-	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		人	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	-
(備考) 在籍報告未提出による支給停止	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	-	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	-	人	人
GPA等が下位4分の1	17人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	-	人	人
計	18人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。